

令和6年11月15日  
環境局環境対策課

## 高病原性鳥インフルエンザウイルス(県内野鳥3、4例目)の検出により実施した調査の結果、野鳥の大量死等の異常は確認されませんでした

11月7日に環境省が遺伝子検査を実施し、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が検出されたオオタカ<sup>※1</sup>及びキンクロハジロ<sup>※2</sup>(11月8日報道発表済)について、野鳥監視重点区域内(回収地点の半径10km圏内)の調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

※1 県内3例目、11月1日に十日町市で回収され、同日簡易検査陽性(同日報道発表済)

※2 県内4例目、11月3日に新潟市西区佐潟で回収され、同日簡易検査陽性(同日報道発表済)

### 1 調査日

令和6年11月14日(木)

### 2 調査結果

野鳥監視重点区域内にある渡り鳥の飛来地等である、十日町市を中心とする当該区域内8箇所及び新潟市西区を中心とする当該区域内10箇所において、野鳥の生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施した結果、野鳥の大量死等の異常は確認されませんでした。

### 3 今後の対応

引き続き、野鳥監視強化及び関係機関との情報共有などの対応を継続します。

本件についてのお問い合わせ先  
環境局環境対策課自然共生室 副参事 上迫  
電話(直通): 025-280-5691(内2691)